

科目名	作曲理論Ⅱ	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	高橋 裕・武野 晴子	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

作曲理論Ⅰに続き、基礎楽式の習得を実際の楽曲（ピアノ曲）を研究、分析することにより目指す。それにより、自作品を論理的に分析、説明することが出来る。

＝履修の条件と学習の方法＝

和声の基礎的な知識を備えているという前提で授業を進める。自分なりの分析を発表できるよう予習、復習が必要。音源を利用して事前に何度も聴いて欲しい。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目的や内容）の確認
春学期に提出した分析レポート検討
- 2回 Beethoven Sonata 分析と研究（継続）（その5）
- 3回 Beethoven Sonata 分析と研究（継続）（その6）
- 4回 Beethoven Sonata 分析と研究（継続）（その7）
- 5回 Beethoven Sonata 分析と研究（継続）（その8）
- 6回 Brahms Sonata 分析と研究（その1）
- 7回 Brahms Sonata 分析と研究（その2）
- 8回 Brahms Sonata 分析と研究（その3）
- 9回 Brahms Sonata 分析と研究（その4）
- 10回 Brahms Sonata 分析と研究（その5）
- 11回 Chopin など他の作曲家達による Sonata 作品の分析と研究（その1）
- 12回 Chopin など他の作曲家達による Sonata 作品の分析と研究（その2）
- 13回 Chopin など他の作曲家達による Sonata 作品の分析と研究（その3）
- 14回 Chopin など他の作曲家達による Sonata 作品の分析と研究（その4）
- 15回 Chopin など他の作曲家達による Sonata 作品の分析と研究（その5）

＝成績評価の方法と評価の基準＝

平常点（授業への積極的参加姿勢） 50%
分析ノート作成、発表 50%

＝テキスト（必携）＝

特になし